

2016
4月
第60号

かいよう
海陽
公民館報



3月6日公民館大会での海部川筋盆踊り実演の様子



平成27年度 海陽町公民館大会

テーマ：「未来を拓く公民館力」
～人が輝き 地域がきらめく～

3月6日（日）海南文化館において『未来を拓く公民館力～人が輝き 地域がきらめく～』を大会テーマに町内の公民館関係者をはじめ、多くの方が集まりました。乃一公民館長、岡田教育長の挨拶の後、各地区の伝統行事紹介があり、阿波農村舞台の会会長の太和武生さんによる講演が「阿波の南方・北方」と題して行われました。また、午後から公民館交流芸能大会が行われ、地域の皆さんによる各種芸能が披露されました。文化館のロビーには公民館の活動写真の展示、人権啓発パネル展・海陽町内小学校人権啓発ポスターの展示が行われました。

講演内容



皆さんこんにちは、先ほど廊下でときどき昔教えた感じのする方々にお会いして大変懐かしい気持ちであります。私が初めて教員になったそのときの懐かしい感じが致します。今日はですね阿波の南、北方、南方ということでお話させていただきます。徳島県は南方と北方でいろいろな点で大変な違いがございます。産業が女性の自立ということと関わっているということで今日はそこに焦点を当てて考えていきたいと思えます。徳島県は皆さん方ご存知のように江戸時代から一番お金になる産業、これは藍でございます。で、その藍の産業、藍づくりというのは吉野川筋を中心に行われました。藍というのは今皆さんが単なる1つの色

じゃないかというふうに思われるかもしれませんが、もっともっと深い意味があります。深い意味があるというのは、これは京帷子の内側、鎧の内側に着る京帷子を染める色でございます。どうしてそういうものを京帷子に使うのかと申しますと、藍というのは染めるときに何回で染めるかということで濃さ違うんですね、恐らく皆さん方がお使いになっているそのタオルみたいなものはせいぜい5回くらい、それを藍の桶に入れてそしてそれをしばってそれを繰り返す。5回くらいで十分に濃い色になるわけですけどもそれを重ねていきますと非常に濃い色になる。一定の藍色が進みますと今度はちょっと違った表現をするんです。濃紺の色のことを勝ち色というのです。勝ち色ということで誰がどういう人たちが着たかといいますと侍の鎧の下に着る帷子として着るこれは大変縁起を担いでそういうものを着たようでございます。それが徳島県では吉野川筋を中心として作られました。藍は連作を嫌いますので吉野川が氾濫して毎年毎年新しい土をもってくる毎年毎年素敵な藍ができるということで徳島県では吉野川筋に堤防を作るということをしなかったといわれています。そこで非常に誤解が多い言葉ですけども、皆さん方こういうことを聞いたこともあると思いますけども、「阿波の北方、女の夜這い」、ちょっと聞いたことある人、手をあげてください。これはね、夜這いというのは実は今皆さん方が躊躇しておられる、手を上げるのを躊躇されたようなそういう意味ではないんです。呼び続ける、夜這う、求婚する、プロポーズするという意味。阿波の北方では女の方がプロポーズするこれはどういうことかといいますとそれだけの経済力があるということです。で、江戸時代に女の方が経済力を持っているその代表的なものが藍です。藍染と従事する人それともう1つあるん

ですね、それが山形の紅花を染める人、この藍の紺色と山形の赤い色、その二つが江戸時代に通用しました。染料としましての商品化されたものだからそのほかの色は全部草木染であったというふうに言われております。従いまして、徳島県の吉野川流域で作られる藍、この藍を主として作ります女性たちは非常に強い経済力を持っております。それが「阿波の北方、女の夜這い」という表現に集約されている、だから女性が夜這いというのは非常に淫乱なような聞こえますけども、夜這いというのはこっちおいで、一緒になろう、結婚しようよという求婚を女性のほうから発議する言い出す。それが、あんた一人くらいだったら私が養のうてあげるわと、ということが女の夜這いといわれるようになったと言われております。この藍の染料というのは、その後ずっと男の服、女性のうち着、学生服はほとんどが紺色か黒でしょう、紺か黒かということで決まっているようなことでございます。染料として統一色がでてくるのは明治になってからのことでございます。まあそういうことで阿波の北方女の夜這いという言葉が非常に誤解された形で使われておりました。言葉が誤解されたわけですけども、やはり女性の働きが一家の経済を支える状況は変わらないわけで北方の人のほうが非常に明確に意思を示す、はっきりしとる、まあ皆さんもたぶん北方の人はきついなあなんてということを常々言うだろうと思いますけどもそれがこういうところに表現されるわけです。それに対して南の人は人間が柔らかい、わりにこういうことが通説になってきます。優柔不断ということかもしれませんけども、そういうことで柔らかいということが言われています。



交流 芸能大会



穴喰太子講勤労奉仕

3月6日(日)穴喰小学校、穴喰中学校で穴喰太子講組合の皆さんによるボランティア活動が行われました。今年で44年も続いている修理修繕の奉仕は子ども達や学校関係者から大変感謝されています。当日は午前8時半から2班に分かれてそれぞれの学校に出向き、手際よく作業が進められ午前中で終了しました。今年は教室のロッカーやトイレの扉等直していただきました。毎年、子供達のために力を貸していただき本当にありがとうございます。



ー当日出席者の皆さん(11名)ー

徳岡和夫・伊丹研一・角谷 譲
高畠武夫・叶崎 正・叶崎慎也
中 清光・手島俊明・小山 誠
小山秀行・小山 慎

スポーツ少年団表彰



平成28年2月28日(日)に藍住町民会館で開催されました、「平成27年度日本スポーツ少年団顕彰伝達式」におきまして、海陽町スポーツ少年団が市町村表彰を授与されました。

表彰を受けた海陽町スポーツ少年団の辻団長は、「これからも、スポーツ少年団の理念であるスポーツによる青少年の健全育成を目標に、一人でも多くの青少年にスポーツの遊びを提供できるよう頑張りたい」とコメントされました。

第11回

海陽町文化協会祭

会場：阿波海南文化村

作品展示

4月29日(金)正午～

5月5日(木)

絵画 写真 書道 水墨画 俳句 川柳 絵手紙
押し花 等



芸能発表

5月8日(日)

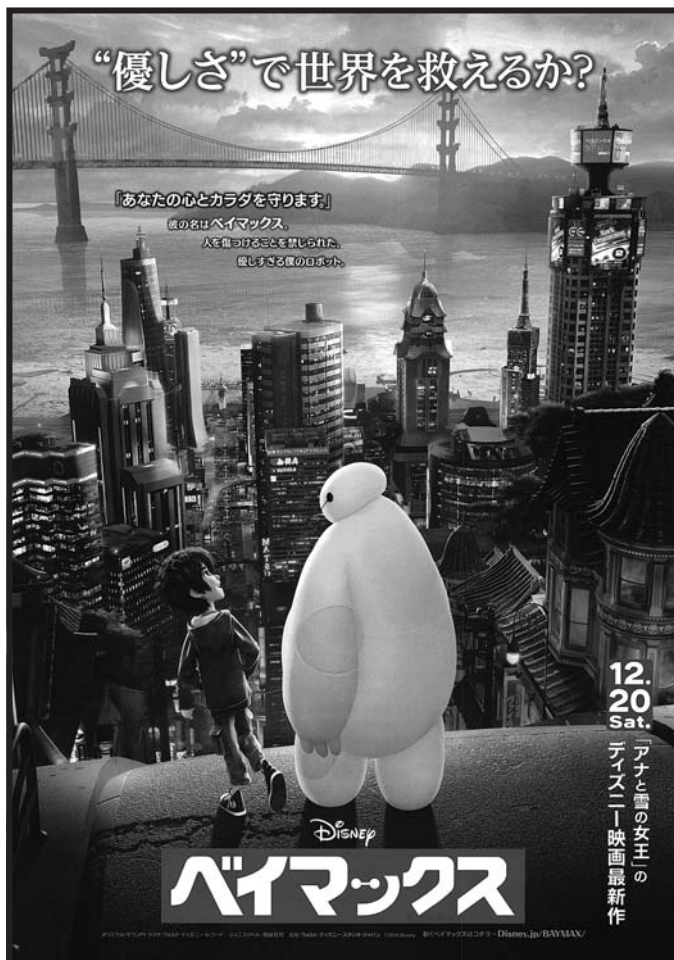
午後1時30分～

カラオケ 民謡 日舞 阿波踊り 琴 三味線 合唱
ダンス 詩吟 詩舞 等

体験教室… 5月4日(水)・5日(木) (AM10:00～PM3:00)

押し花体験教室(マグネット・ストラップ等)

料金／材料費 100円～



入場無料

どなたでもお誘い合わせの
うえ、お越し下さい。

字幕入り

日時・5月5日(木・祝)

①10:00～11:42 ②14:00～15:42

場所・海南文化館ホール

主催／海陽町教育委員会

お問い合わせ／TEL 0884-73-3100

昔の
おもちゃ



漁 具

漁具

海陽町立博物館初の
町民参加型
企画展です！



かぶと
や
五月人形

海陽町立博物館主催

春の企画展

海陽と

わが家のお宝

展示品大募集 !!

おひなさま



懐かしの
写真

民具



民 具

等々...

博物館ボランティア
「さざなみ」の会
初プロデュース！

【募集期間】平成 28 年 4 月 15 日まで
「お宝」をお持ちの方は、
まず下記までお電話ください。

※博物館への直接のお持ち込みはご遠慮ください。

海陽町立博物館

TEL 0884-73-4080

「人権力」ですみよい町に！ 今、戦争を考える①

社会教育指導員 佐藤 和久

戦争は最大の人権侵害で、絶対に起こしてはならないもの——これは、世界の多くの人々が持っている共通の認識ではないでしょうか。ところが現実には、毎日のように世界各地で戦争やテロなど悲惨なできごとが繰り返されています。日本は戦後70年、平和な時期が続きましたが、世界のこのような現状を見る限り、いつ戦争に巻き込まれてもおかしくないように思います。

昨年から、憲法改正や安保法制に関する論議も盛んに行われ、戦争や平和に対する国民の意識も高まりつつあります。今このような時期に、戦争や平和についていろいろな角度から改めて考えてみるのもいいのではないのでしょうか。

戦争のとらえ方には様々ありますが、「戦争を予知する・予防する」という観点から、過去の歴史や外国の例をもとに導き出せるものはないか、私なりに考えてみました。

戦争の兆候

日本人は往々にして、戦争は何らかのもめ事があって、それが原因で始まると考えている人が多いようです。ところが、過去の戦争に関する情報が開示される、多様な角度から分析されるようになると、戦争は**つくられるもの、仕組まれるもの**という見方がされるようになってきました。もしそうであるとすれば、どこかにその兆候や前ぶれがあるはずであり、私たちはそのサインに対して、常に注意を払って対処していく必要があります。

戦争に導く兆候（サイン）であると考えられるものをいくつかあげてみます。

①挑発的事件（仕掛け攻撃）

戦争が起きる前には偶発的・突発的な事件や出来事が必ずといっていいほど発生しています。その事件をきっかけに戦争に入っていくことが分かります。

例えば、1931年の南満州鉄道爆破事件は、関東軍が鉄道爆破を自作し、それがもとで満州事変に発展したとされています。



1964年には、北ベトナム沖のトンキン湾で、北ベトナム軍の哨戒艇がアメリカ海軍の駆逐艦に魚雷を発射したとされる事件が起こります。この事件をきっかけに、ベトナム戦争が始まります。この事件は、アメリカ自身がねつ造したものであったことが7年後ニューヨークタイムズで暴露されます。その他、過去の多くの戦争を検証すると、これとよく似た事件が戦争の引き金に使われたということがよく分かります。

挑発的事件には、自作した事

件を敵国のせいにして攻め込む方法と、わざと自国の弱点を相手にさらすことで相手の攻撃を誘導し、それを口実に反撃する方法などがあるようです。いずれにしても、相手より国力・軍事力で勝っている国が仕掛けることが多いようです。

②経済的危機

太平洋戦争（大東亜戦争）が起る前、アメリカは日本に経済制裁を行いました。資源の輸出を制限し、日本の国力を弱めようとしたのです。そこで日本は、止むを得ず南下政策を取り、資源を確保するために米英との戦いに突入していきます。一方のアメリカ経済も世界恐慌により極めて困窮していました。当時の大統領であったルーズベルトは、ドイツと日本に対して戦争介入を望んでいたともいわれています。戦争によってアメリカ経済は回復したと見ることもできるのです。現在でも、経済制裁・経済封鎖という手段は国家間で度々使われています。国家が経済的な窮地に追い込まれたり、経済制裁を受けた状態が生まれると、戦争勃発のエネルギーが蓄積していると考える必要があるのでないでしょうか。

次回は、③国民の煽動と④情報操作について触れてみます。

町立図書館だより

寄贈図書のお知らせ



昨年、海陽町出身の方から町立図書館に 100 万円の寄贈がありました。就労支援に関する本あるいはキャリア教育に関する本を購入してくださいということで、穴喰図書館と海南図書館合わせて 510 冊の書籍を購入させていただきました。

4 月より貸し出しを行います。いろいろな仕事の内容を知りたい方、資格試験や大学受験の対策を立てたい方、起業したい方などどんどんご活用ください。

スペースの関係上、購入したすべての本の名前を載せられませんので、一部だけ紹介させていただきます。

穴喰図書館

- ◆会社のしごと 会社の中にはどんな職種があるのかな? 売るしごと (シリーズ)
- ◆5教科が仕事につながる!数学の時間 中学校の科目からみるぼく (シリーズ)
- ◆レストランで働く人たち(しごと場見学シリーズ)
- ◆わくわく資格ブック きみの未来と夢
- ◆どんな仕事も楽しくなる3つの物語
- ◆就職でトクする大学・損する大学ランキング
- ◆あたりまえだけどなかなかできない雑談のルール
- ◆農産物直売所の繁盛指南 開設手順と運営ノウハウを公開!!
- ◆自分からどんどん勉強する子になる方法
- ◆和田式逆転の受験勉強法



海南図書館

- ◆農家になろうシイタケとともに (シリーズ)
- ◆仕事のための5つの基礎力
- ◆これだけ知っておけば大丈夫!「ビジネスマナー」のきほん
- ◆ちょっとした“気配り”で仕事も人間関係もラクになる!
- ◆60歳からはじめるネットショップ開業&運営術
- ◆お仕事ナビ 1 キャリア教育支援ガイド 食べ物を作る仕事
- ◆髪の毛を切るってなんだろう 美容師
- ◆難関資格が取れる勉強法
- ◆最新脳科学が教える高校生の勉強法
- ◆ずるい暗記術
- ◆脳の強化書



穴喰俳句 三月

薄氷に閉じこめられし葉一枚 うすらい	梅田千恵子
初音聞くあと一声を待つており	長岡達江
満開の菜の花畑風の音	山本球子
腕伸ばし空を仰いで春光浴 しめんしやうよく	外山千佳
梅が香や絵馬堂の武者色褪せて	川野佳代
沈丁花見えぬ香りに歩を向ける	広田完作
白梅や老人ホーム母息災	寺崎照代
僧の背に残る寒さや一周忌	元木栄子
落椿鳥居の上に二つかな	間戸谷恵子
豆撒くもわが身の鬼はここに	新井久実
喪の席にコート小さく畳み置く	樽井みつ子
木蓮の花ほころぶを日々数え	陸田ヨネ子
うららかや百円ショップを見て回る	鍛冶田晟
立春のまつさらな空君は発つ	新井駿也
お彼岸のぽつと灯のつく石灯籠	元木朱子
ひらひらと晴着の裾や成人式	中岡啓泰
春宵や村のはづれに灯の一つ	木下野生

海南俳句

うぐいすが声はり上げて小若い衆	森口豊子
盆梅と並び縁にてひなたぼこ	平道はつ子
孫ありて生くるたのしき喜寿の春	岳山祐弘
寒鰯の味噌煮フランス料理風	橋本幸子
渋渋と溝の掃除や春近し	新居利之
つぎつぎに水を離れて春の鴨	田中たち子
大胆派叱る長老村野焼	鍛冶崎郁夫
春寒し画鋏食ひこむ掲示板	谷口洋根子
福は内わが家の扉全開に	津川須美江
春一番独り居の戸をゆさぶりて	谷律子
境内に国旗はたはた建国祭	森浩子
大正も昭和も過ぎて梅白し	山本達平
青空へ向かふが如く芽吹きをり	叶岡陽二
黒潮の香りを包み枇杷育つ	廣瀬克子
埋もれて咲きし水仙匂ひけり	坂本節子
みどり児の額に寒紅ぼつと咲く	武知陸子

海部ひまわり俳句

漁師らに「おい」と呼ばれて浜焚火	津田一
薄氷に小石をひとつ乗せてみる うすらい	西本公明
温きもの奪い去りしはなに奴だ ぬく	榊原礼子
知能指数低下しそうな春の午後	南歌子
城山にまけずがんばれ春風にのれ	松田嘉子
石垣の隙間隙間に董咲く すきま すみれ	元木美枝子
パチパチと珠算の解けぬ春の雪	佐藤美代子
白梅のほころびだしたかどの家	穴戸道子
少年の山彦ありて春の空	岡育代
ふきのとう土の肌よりひょこり出る	川野照美
日脚伸ぶ父の歳時記セピア色	福田敦子
送南風はるか武蔵は魚の城	佐藤薦子

On flows the river
In deep shadows koi dream
Winter moon wanders

関山無門

〈意訳〉
あふる河 鯉影ただよう 冬の月



海南短歌会

きたかた
県北に降雪注意出でし朝のみなぎる大気に頬を打たるる

細野綾子

園庭に声まき散らし遊ぶ児らひときわ高き孫の声する

蛭子美恵子

こぶし咲きうらうららと陽の光巢立ちゆく子の姿うるわし

大久保スエ子

ぜいたくにあらねど手間を惜しまざる伯母の手料理生きざまに似る

土谷公代

海原をだるま朝日の離る時しちやぱりと音のこぼれたような

桑村未貴子

穴喰短歌会

手のひらに雀の鼓動伝わり来^{くむとせ}六年睦みし日溜りの部屋

大黒千枝美

冬枯れの木々にふくらむ芽の見えて山ふところは心ゆたけし

山崎千栄子

咲き初めし紅梅の枝に縋り居る蓑虫揺れて春待つ気配

桑野亀乃

舞と歌をこよなく愛し去りし友真紅の椿天に届けむ

舛谷恂子

二人きり老の午餐に春の風咲き初めし梅香りを運ぶ

三野みよ子

救はれし生命の重さかみしめて残生感謝の日々を過さむ

田井晴代

網代川柳二月句会より

漁師町波の音聞き育ったよ

井上可楽

惜しまない汗が育てた人間味

石垣小道

何が不服気になる妻の受け答え

黒岩一平

よき玉を受けそこねては一人住む

太田一洋

老い進み動きだんだん鈍くなる

高木柳月

世の中の動きに遠く住んでいる

中村あかり

新学期服もカバンも気も晴れる

福岡純山

子の叫び海鳴りに聞く拉致家族

風呂谷いずみ



平成28年度 海南文化館の主な自主事業の紹介

7月9日(土)

とくしま記念オーケストラ公演

豪華ゲストと地元コーラス・
小学生も共演します。



9月3日(土)

落語で元気なまちづくり企画

月亭方正独演会(よしもと)

武者修行の旅

12月9日(金)

NHK公開番組「真打ち競演」収録

漫才・漫談・落語の真打ちによる名人芸



平成29年 **2月25日(土)**

劇団わらび座 舞楽詩「風の又三郎」

民俗芸能、和楽器・洋楽器の生演奏、そして歌。
様々なパフォーマンスが出会い、
新たな宮沢賢治の世界が広がる。

**その他、映画上映会など盛りだくさん予定されています。
お楽しみに!!**